

資料 編

## 「弘前圏域定住自立圏共生ビジョン」の取組内容・評価等

## 政策分野1 生活機能の強化

分野	医療					
取組の名称	救急医療体制の維持及び充実					
取組の内容	圏域の救急医療体制を確保するため、休日・夜間救急診療体制を維持するとともにその充実を図る。					
事業名	休日及び夜間における一次救急診療事業					
関係市町村	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弘前市が弘前市医師会、歯科医師会に指定管理及び委託し、休日・夜間急患診療体制(弘前市急患診療所)、休日在宅医診療体制の維持を図った。</li> <li>・休日急患診療体制(弘前市急患診療所)において、平成27年10月から外科を開設し急患医療体制の充実を図った。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
急患診療所の運営					→	
休日在宅医診療					→	

分野	福祉					
取組の名称	子育て支援の充実					
取組の内容	圏域の住民の子育て支援の充実を図るため、甲が行う特別保育事業の対象区域を圏域に拡大し、圏域全体として安心して子育てができる環境を整備する。					
事業名	特別保育事業					
関係市町村	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別保育事業を他市町村の住民が利用できる環境は整っており、国・県の補助金を受け当該事業を実施している各保育所等が、他市町村の住民についても個別に相談を受け、対応している。</li> <li>・他市町村の住民の利用状況は、月毎に把握し、利用も伸びてきているため、今後も連携して実施する。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
実施					→	

分野	教育					
取組の名称	学校給食の充実					
取組の内容	甲が設置する学校給食センターから乙の学校給食未実施校に対して学校給食を提供するため、その時期及び内容等について継続的に検討し、及び検証を行い、学校給食の提供を行う。					
事業名	学校給食充実事業					
関係市町村	弘前市、黒石市					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒石市の学校給食未実施校に対して、弘前市の東部学校給食センターから学校給食を提供できないか、実施時期及び実施内容について協議を重ねることとし、平成24年3月に黒石市教育委員会で決定した「黒石市立小・中学校適正配置」を受けて平成27年度の実施を目指していたが、平成30年度に延期となり、その後平成32年度に再延期となった。</li> <li>・その間東部学校給食センターでは、設備や機器の更新等を計画的に進めた。</li> <li>・平成28年5月に黒石市において、学校給食の実施と小・中学校適正配置を総合的に進めていく中で、給食については自校式で進めるという方針が決定したことから、当該事業については中止とすることとした。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
検討及び検証	→					
小学校実施計画	→					
小学校実施準備		→				
小学校給食実施				→		

分野	教育					
取組の名称	学校教育環境の整備					
取組の内容	乙から甲への中学校教育事務委託の実現のために、学校教員、保護者、地域住民及び教育委員会職員による東目屋・西目屋児童生徒等交流推進協議会において意見交換し、学校間及び地域間の交流を推進する。					
事業名	東目屋・西目屋児童生徒等交流推進事業					
関係市町村	弘前市、西目屋村					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年6月より東目屋・西目屋児童生徒等交流推進協議会を設置し、平成27年1月まで計6回の協議会を開催し、意見交換を重ねた。</li> <li>・3年間の事前交流を実施した結果、児童・生徒間、教員間、保護者間など、さまざまな面での交流が深まり、地域間の融和や両地域の一体感が生まれたことから、平成27年度より西目屋村からの中学生教育事務委託が実現し、弘前市立東目屋中学校において西目屋村の中学生の受け入れを開始した。</li> <li>・当該事業については完了とする。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
地域間交流の推進		→				
事務委託の協議		→				

分野	教育					
取組の名称	大石武学流庭園の調査、普及及び活用					
取組の内容	圏域内の指定名勝及び登録記念物の庭園を核として、大石武学流庭園の掘り起こしを行い、津軽独自の庭園文化の普及及び活用を図る。					
事業名	大石武学流庭園調査・活用事業					
関係市町村	弘前市、黒石市、平川市					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年度、弘前市内に所在する 3 つの国指定名勝候補庭園の現況測量調査を、弘前市直営で実施した。</li> <li>平成 27 年 9 月に「大石武学流庭園シンポジウム」をヒロロで開催し、164 名の来場を得た。</li> <li>平成 28 年 8 月に「大石武学流庭園サミット&amp;バスツアー」を黒石市および平川市と連携して開催した。サミットは、ホテルナクアシティ弘前で開催し、210 名の来場を得た。バスツアーは、3 市に所在する国指定名勝庭園を巡り、98 名の参加を得た。</li> <li>平成 28 年度、弘前市内に所在する 3 つの国指定名勝候補庭園の詳細測量調査を、弘前市発注で専門業者に委託し実施した。</li> <li>調査の実施やイベントの開催により、大石武学流庭園の顕在化が図られたことから今後も継続実施したい。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
調査				→		
情報発信				→		

分野	教育					
取組の名称	重要伝統的建造物群保存地区（以下「重伝建地区」という。）における修理修景等事業及び活用事業の推進					
取組の内容	圏域内で甲乙に所在する両重伝建地区に対する愛情・誇り・一体感を醸成し、圏域外からの観光客の流入と周遊を図るため、修理修景等事業の推進及び圏域内外への情報発信等の広報活動に取り組む。					
事業名	重要伝統的建造物群保存地区修理修景等及び活用事業					
関係市町村	弘前市、黒石市					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年度の修理修景事業は、弘前市で国庫補助事業 4 件、市単独事業 4 件を実施した。また、黒石市で国庫補助事業 3 件を実施した。</li> <li>修理修景事業の実施により、地区の景観保全が図られているため、今後も継続実施したい。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
修理修景				→		
情報発信				→		

分野	産業振興					
取組の名称	食産業の育成					
取組の内容	圏域の豊富な農産資源等を活用した付加価値の高い商品づくりや販路開拓に取り組む事業者を支援するための体制を整備する。					
事業名	農商工連携・6次産業化促進事業					
関係市町村	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度より「専門家の配置」を実施。加藤哲也氏を起用し、異業種間のコーディネート活動やアドバイス等を行い、農商工連携や6次産業化を促進した。専門家の派遣により、コーンスープやシードル、ドレッシング、ジャム等多数の商品化を支援した。ただし、中南地域県民局や21あおもり産業総合支援センターでも、弘前圏域に専門家を派遣しているため、今後はそれらの専門家派遣を活用することとし、当該事業は平成28年度で終了とする。</li> <li>平成25年度より「見本市への出展」を実施。国内最大規模の食品展示商談会に出展。出展事業者の中には、1,100万円規模の成約を結んだ事業者もいるなど、期待した効果が得られているため、今後も継続して実施する。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
専門家の配置	→					
見本市への出展	→					

分野	産業振興					
取組の名称	企業誘致活動の推進					
取組の内容	地域の雇用確保及び経済の活性化を図るため、圏域市町村と立地に係る情報を共有し、圏域全体としての立地環境、魅力や強みを企業へ情報発信するなど、圏域一体となった企業誘致活動を展開する。					
事業名	企業誘致圏域連携事業					
関係市町村	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度に「弘前圏域定住自立圏企業立地ガイド」を作成。そのガイドブックを基に情報発信を行った。</li> <li>首都圏で開催される民間及び県主催のフェアへ出展し、圏域のPRを実施することができた。しかし直接、誘致に繋がる案件はなく今後の情報発信の手法を検討することが必要である。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
ガイドブックの作成	→					
情報発信	→					

分野	産業振興					
取組の名称	農作物猿害防止体制の構築					
取組の内容	農作物猿害の軽減に向けて、甲及び乙地域における猿の生態を調査し、及び検証するとともに、総合的な調整を図りながら、連携による農作物猿害防止体制の構築に取り組む。					
事業名	農作物猿害防止対策事業					
関係市町村	弘前市、西目屋村					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 25 年度から事業を開始し、平成 27 年度までに 2 基の GPS 装置及び GPS 機能付き携帯電話を取り付け、行動域データを取得した。</li> <li>平成 28 年度はテレメトリー発信器による行動域調査を実施したところ、4 つの群れの行動域を長期的に調査できた。</li> <li>平成 28 年度時点において、まだ行動域を特定できていない群れを目視で確認していることから、今後も継続して実施する必要がある。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
猿の生態調査		→			→	
巡視員の連携					→	
探索器による監視体制の検証					→	

分野	観光振興					
取組の名称	広域観光商品の充実					
取組の内容	圏域への誘客につながる広域観光商品の充実を図るため、圏域に求められる観光ニーズを調査し、及び検証するとともに、観光商品を開発する首都圏の旅行代理店等へ効果的な情報発信を行う。					
事業名	広域観光商品化情報発信事業					
関係市町村	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 24 年度、設立総会を開催し、協議会を設立。</li> <li>平成 25 年度、周遊旅行商品体験ツアーを開催し、参加者によるアンケート調査や意見交換会を実施。圏域の観光商品に対する意見やニーズを把握し、以降の情報発信やツアー実施に活用することができた。</li> <li>平成 25 年度、県観光連盟の首都圏キャンペーンと協力し、広域観光 PR を実施。また、平成 26 年度～28 年度においては、名古屋圏域での観光キャンペーン及びフジドリームエアラインを利用したツアーを実施。各キャンペーンとも、旅行代理店等への情報提供や観光 PR を圏域一体で効果的に実施できた。</li> <li>青森港へのクルーズ船入港に伴い、青森港、弘前駅でクルーズ船乗客に対する観光案内を実施。増加する外国人観光客に圏域を印象づけることができた。</li> <li>平成 27 年度、タレントを活用した圏域の PR 番組を制作、放映及びパンフレットやウェブサイトを作成。圏域の魅力ある観光情報を全国発信することができた。</li> <li>平成 27～28 年度、北海道新幹線開業や青函 DC に伴い、弘前駅での観光 PR を実施。また、平成 28 年度には弘前さくらまつりやはこだてグルメガーデンにブースを設置し、観光 PR を実施。各種観光 PR とも、旅行社の圏域内での周遊促進につながるよう実施した。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
調査検証	→					
情報発信					→	

分野	地域防災					
取組の名称	広域備蓄体制の整備					
取組の内容	大規模・広域的な災害の発生時に被災住民に対して的確に対応するため、青森県と連携しながら、燃料、毛布、飲料水等の物資を備蓄する体制を整備する。					
事業名	広域災害に対応することができる備蓄拠点の整備					
関係市町村	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鱈町、田舎館村、西目屋村					
取組内容及び評価	・弘前市では平成26年度に備蓄計画を策定し、防災アセスメントの結果を基に必要な食料、物資の備蓄を進めているが、県及び定住自立圏内自治体との連携は進んでいない。					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
課題等の整理					→	
備蓄計画の策定		→				(弘前市のみ実施)
物資整備・運用開始			-----	-----	-----	

分野	地域防災					
取組の名称	合同防災訓練等の実施					
取組の内容	大規模・広域的な災害の発生時に、自治体及び関係機関が連携した対応ができるようにするため、組織間連携の確認と向上を目指した合同防災訓練を実施する。					
事業名	8市町村合同防災訓練 8市町村防災担当職員合同研修会					
関係市町村	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鱈町、田舎館村、西目屋村					
取組内容及び評価	・弘前市が実施する総合防災訓練や研修会等に定住自立圏内自治体からも参加することで、ある程度、各自治体の防災力の向上が図られたと思われるが、さらに効果的な訓練・研修内容の検討・実施が必要である。					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
実施要領	→					
県防災訓練への参加	→					
合同訓練実施					→	
合同研修会実施				→		

分野	環境					
取組の名称	し尿処理の広域化					
取組の内容	汚水処理等を効率的に行うため、圏域のし尿等を一括して処理する。					
事業名	し尿・浄化槽汚泥等共同処理事業					
関係市町村	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村					
取組内容及び評価	・M I C S事業（汚水処理施設共同整備事業）として、県の岩木川浄化センター内に「し尿等希釈投入施設（名称：津軽広域クリーンセンター）」を建設し、平成27年10月から、圏域内のし尿等を共同処理している。					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
実施設計等	→					
建設工事等		→	→			
管理・運営等				→	→	

分野	環境					
取組の名称	カラス対策の連携					
取組の内容	カラスによる被害を軽減するため、連携して被害状況、個体数等を調査し、及び検証するとともに、検証結果に基づき、広域的かつ効果的なカラス対策を検証し、及び実施する。					
事業名	カラス対策連携事業					
関係市町村	弘前市、黒石市					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ集積所におけるカラスのエサ断ちに関する対策を実施している。</li> <li>・毎年同時期（平成27年度は10月、1月、2月）に合同個体数調査を行ったうえで、被害調査、生態調査及び検証を実施している。</li> <li>・「弘前市カラス対策連絡協議会」を年2回開催し、被害状況等の情報を共有している。</li> <li>・その他調査・検証結果に基づいたカラス対策を検討している。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
情報共有	→	→	→	→	→	
合同調査・検証	→	→	→	→	→	
エサ断ち対策	→	→	→	→	→	
その他対策	→	→	→	→	→	

分野	環境					
取組の名称	使用済小型家電リサイクルの促進					
取組の内容	圏域における使用済小型家電の再資源化を住民に啓発するとともに、使用済小型家電を効率的にリサイクルする体制を整備する。					
事業名	使用済小型家電リサイクル事業					
関係市町村	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内の廃棄物処理施設でのピックアップ回収を行った。</li> <li>・圏域住民への使用済小型家電の再資源化啓発を行った。</li> <li>・圏域内の公共施設などへ設置された回収ボックスによる拠点回収の効率化に向けた方法の検討について、ワーキング会議を行った。</li> <li>・圏域内での新たな効率的回収方法として「使用済小型家電等の宅配便回収についての連携と協力に関する協定」を締結し、平成28年3月から宅配便回収サービスを開始した。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
ピックアップ回収				→	→	
啓発方法等検討				→		
啓発等実施					→	

分野	その他					
取組の名称	消費生活相談体制の広域的対応					
取組の内容	圏域における消費生活相談を広域的に行うことにより、住民サービスの向上を図る。					
事業名	弘前圏域消費生活相談事業					
関係市町村	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域による消費生活相談体制を維持することにより、相談件数は増加している。</li> <li>・消費者被害減少のために必要な情報を提供し、未然防止を図る。</li> <li>・相談員の研修や情報収集等により、相談員の資質向上をおこなっている。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
相談業務				→	→	
市町村への周知				→	→	

## 政策分野2 結びつきやネットワークの強化に係る具体的取組

分野	地域公共交通					
取組の名称	圏域公共交通ネットワークの再構築及び利用促進					
取組の内容	地域公共交通の確保及び利便性向上に向けて、圏域における地域公共交通の実情を調査し、及び検証するとともに、総合的な調整を図りながら、交通事業者と連携して、圏域の公共交通ネットワークの再構築及び利用促進に取り組む。					
事業名	弘前圏域公共交通計画の策定					
関係市町村	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弘前圏域地域公共交通計画を平成25年3月に策定。</li> <li>・構成市町村及び県の公共交通担当者及び交通事業者と連携し、弘前圏域内のバス路線のうち、浪岡線の一部、川原平線の一部、五所川原線の一部を再編。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
公共交通計画の策定	→					
事業名	公共交通利用促進活動の実施					
関係市町村	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弘前圏域内公共交通担当者会議を開催し、今年度の利用促進PR活動のスケジュール等の確認や、国・県から公共交通に関する様々な情報提供があり、担当者間での情報共有を図った。</li> <li>・公共交通の現状と必要性を記載したパンフレットを作製・配布し、周知を行った。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
利用啓発活動の実施			→			

## 政策分野3 圏域マネジメント能力の強化に係る具体的取組

分野	圏域市町村の職員等の交流					
取組の名称	圏域市町村職員の育成					
取組の内容	圏域市町村職員の能力の向上及び連携強化を図るため、合同研修を実施する。					
事業名	圏域職員合同研修事業					
関係市町村	弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村					
取組内容及び評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度より圏域市町村職員合同研修・圏域職員政策提言事業を毎年実施した。期待したとおりの効果があったため、今後も連携して実施する。しかし、各自治体で近年参加人数の確保に苦慮している傾向にある。</li> <li>政策提言事業では毎年同じテーマで政策提言を課しているため、考えられる事業が限られてきている。</li> </ul>					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
合同研修の実施					→	
圏域職員 政策提言事業					→	

分野	行政事務の効率化					
取組の名称	電算システムの共同利用					
取組の内容	電算システムの共同利用により、コストの削減、利便性、効率化、セキュリティの向上、災害時の業務継続における対応力の強化を図る。					
事業名	電算システム共同利用推進事業					
関係市町村	弘前市、大鰐町、田舎館村、西目屋村					
取組内容及び評価	平成27年4月1日より電算システムの共同利用を実施。経費削減及びセキュリティ向上など期待した効果があった。					
取組状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
共同利用の実施					→	
共同利用の協議					→	